

主題：神の建造する働き

メッセージ 11

神の建造のビジョンを見ることの影響と建造の型によって測られることとの影響

聖書：エゼキエル 43:10-12. エペソ 2:21-22. 4:16

- I. エゼキエル書第43章10節から12節は、聖なる宮、すなわち神の聖なる建造のビジョンを見ることの影響について語っています：
- A. エゼキエル書は主の栄光の現れのビジョンで始まり、神の聖なる建造のビジョンで終わっています。これが示すのは、神の目標が建造であるということ、主の栄光、神の裁き、主の回復がすべて神の聖なる建造のためであるということですから—— 40:1—48:35。
 - B. 宮は神の安息のための家であり、都は神の権威のための王国です—— 35 節後半：
 - 1. 宮は神の交わりを表徴しており、都は神の統治を表徴しています。
 - 2. 宮の中で神は彼の民と交わりを持ち、都の中で神は彼の民の間で王として支配します。
 - C. エゼキエル書における神の建造のビジョンは、神が住んでいる場所、すなわち神の聖なる宮を描写しています。もしわたしたちが神と会いたいなら、わたしたちは彼がおられる特定の場所、すなわち彼がおられる正確な位置を知る必要があります—— 40:4. 48:35 後半。
 - D. エゼキエル書において、祭壇は神の建造全体の中心です。わたしたちは神の建造の中心にある祭壇に来るとき、特定の方法で十字架を経験します—— 40:47. 43:13-27。
 - E. 宮の内側の壁の木製の羽目板には、ケルビムとしゅろの木が彫刻されていました—— 41:18-20：
 - 1. ケルビムは、主の栄光が被造物の上に現れることを表徴しており (10:18. ヘブル 9:5)、しゅろの木はキリストの勝利とキリストの永続し永存する力を表徴しています (エゼキエル 40:16. 啓 7:9)。
 - 2. しゅろの木とケルビムが壁に彫刻されていたことは、キリストの勝利と主の栄光が苦難を通してわたしたちの存在の中へと彫刻されていることを示しています。
 - F. エゼキエルは、主の栄光が主の家に戻って来るのを見ました。栄光は宮の建造が完成してはじめて戻って来ることができました——エゼキエル 44:4。
 - G. 「これはわたしの御座の場所、わたしの足の裏の踏む場所、わたしが永遠にイスラエルの子たちの間で住む所である」—— 43:7 前半：
 - 1. 主の御座は彼の行政のためであり、主の足の裏は地上での彼の行動のためです。
 - 2. 彼の御座の場所また彼の足の裏の踏む場所としての宮から離れて、主には彼の行政や地上での行動のためのベースがありません。
- II. 主はエゼキエルに、神の家を神の民に書き記すようにと指示しました——40:4. 43:10-12：
- A. 神の意図は、イスラエルの民の生活と行為を彼の家によって調べることでした。エゼキエル書の中で、神は彼の民を宮によって測りました：

1. 神の家が彼らの規則となっていたので、神はエゼキエルに家の設計を彼らに示すよう命じました。
 2. 神の宮は一つの模範であり、もし民がこの模範の光の中で自分自身を調べるなら、彼らは自分の欠点を知るでしょう—— 10-12 節。
 3. 民の生活は、神の宮に符合していなければなりません—— I コリント 3:16-17。
- B. わたしたちはエゼキエル書から見る必要がありますが、内住のキリストの要求は彼の家にしたがっています。すべての人は神の家の尺度にしたがって測られ調べられなければなりません—— 43:10 :
1. わたしたちの振る舞いと行為は、道徳的な規則や霊的な原則にしたがって調べられるべきであるだけでなく、召会、神の家にしたがっても調べられるべきです——ヘブル 3:15-16. I コリント 14:12。
 2. もしわたしたちの存在と行ないが神の建造に符合することができないなら、それは神の目に何の価値もありません——エペソ 4:16. I コリント 8:1 後半. 12:28—13:3. 16:14。
 3. からだの生活は、わたしたちの霊性に対する最大のテストです。もしわたしたちがからだの生活のテストを通過することができないなら、わたしたちの霊性は本物ではありません—— 12:27。
 4. 霊性はからだの事柄です。わたしたちが持っているものはすべて、からだの中に、からだを通して、からだのためにあります——エペソ 4:16。
 5. からだの中には、単独や個人主義はあり得ません—— I コリント 12:21-22, 27. ローマ 12:5. エペソ 5:30。
 6. からだの生活の中では、個人主義的な思想や行動は除外されます。
 7. 個人主義は、神の目に憎むべきものです。からだの敵は自己、すなわち単独の「わたし」です——マタイ 16:21-26。
 8. からだの成長と発展に対する基本的な要求は、わたしたちが自分の度量を認識して、それを越えないということです。パウロのように、わたしたちは神がわたしたちに割り当てた程度に応じて動き行動して、神の測りの限界の内側にとどまるべきです—— II コリント 10:13。
- C. わたしたちは神の家によって測られれば測られるほど、ますます命の中で救われて、共に建造されることに対する妨げから離れ、キリストの奥義的なからだである神の宮となります——ローマ 5:10. エペソ 2:21-22. 4:16。